

一般社団法人 次世代物流協会 設立趣意書

我が国は、急速な人口減少と加速する超高齢化という構造的課題に直面しており、また、IOTやAIという技術革新によって、今まさに、第4次産業革命と称される社会経済のパラダイムシフトが起こりつつある。

社会インフラとして経済活動を支える我々物流業界も当然に、旧態依然の仕組みから脱却し、次世代の物流システムを構築していかなければならない。

社会経済活動の大きなウェイトを占める消費活動も、情報化社会に伴い確実に新たな時代を迎え始めており、それが、小口宅配貨物の急増、従来のSCM上のモノの流れの変化という形で、我々を取り巻く事業環境に大きなインパクトを与えている。

一方で、冒頭の構造的課題からの労働力不足は、現段階では労働集約的産業である我々物流業界にとって深刻な産業問題となっている。

今まさに、目下の課題を解決し、常に時代に求められる物流システムを構築し、安定して高いクオリティでサステナブルに物流サービスを供給することが我々物流業を生業とするものの責務である。

従来、物流業界は全体として下請的な立ち位置を余儀なくされ、さらに多重に中小企業へ孫請させるといった構造で企業及びその従事者の社会的地位は決して高いとは言えない状況である。

末端の労働環境・労働単価は適正とは言えないにもかかわらず、多重の構造での中間マージンにより、一方で不経済性も見受けられる。また、荷主及び大手物流企業を上位とする垂直的・線形な業務情報の関係の中で、面としての横の連携が乏しく、非効率性による社会的損出も発生している。

しかし、これらを改め、経済性・効率性を追求するアプローチでは、これまでの延長線であり、非連続である次世代の社会経済に対応することは出来ない。

我々は、このような時代の変換期において、日本経済および日本社会の持続的な発展を物流業の立場から関係各所と連携しイノベーションを起こして貢献する事で、日本国民の真の幸福と共に我々業界の地位を高める。

高い理念と志を持ち、相互に啓発し合い切磋琢磨し自らをも高める経営人が集う場として、一般社団法人次世代物流協会の設立を發起する。

平成29年10月20日

設立発起人